

アイティフォーG

この消火薬剤は消防法第21条の2第2項の規定(昭和23年法律第186号)に基づく、昭和50年12月9日発令の自治省令第26号「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」(国家検定)に適合した、たん白泡消火薬剤「型式番号泡第59〜4号」です。石油類(非水溶性危険物)およびアルコール類・ケトン類・エーテル類・アルデヒド類・カルボン酸類・アミン類などの水溶性危険物の火災に使用できます。本資料はこの製品の仕様に関するものです。

■成分

- ・本消火薬剤は、天然たん白質を加水分解したものを主成分とし、フッ素系界面活性剤を添加した、石油類・水溶性液体火災両用タイプのフッ化たん白泡消火薬剤です。
- ・泡安定剤・凝固点降下剤などを添加しています。
- ・貯蔵中の薬剤変質を防止するために変質防止剤を添加しています。
- ・本製品に原料由来(※)として以下の物質は含まれません。

- PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)とその塩
- PFOA(ペルフルオロオクタン酸)とその塩
及びPFOA関連物質
- PFHxS(ペルフルオロヘキサンスルホン酸)とその塩
及びPFHxS関連物質
- PFHxA(ペルフルオロヘキサン酸)とその塩
及びPFHxA関連物質

※PFOSやPFOAは公共水域からも検出されており、環境由来の混入がないことを保証するものではありません。

■使用方法

- ・石油類火災への使用には3%型・水溶性可燃性液体火災への使用には6%型として使用できます。(3%—6%型)
- ・淡水・海水・硬水のいずれで希釈しても使用できます。
- ・泡ノズル、泡ヘッド、フォームチャンバーなどで使用できます。
- ・粉末消火薬剤との併用も可能です。

■性状

- ・黒褐色の均質な粘性液体です。
- ・泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または損傷性がほとんどありません。
- ・従来のたん白泡の耐熱性に加え、水溶性液体火災に優れた耐液性(耐アルコール性)を持ち、速やかに消火します。
- ・銅・黄銅・アルミニウムに対し著しい腐食性はありません。温度38℃の泡消火薬剤の中に、金属試験片を21日間放置した場合の質量損失は次の通りです。

金属の種類	実測値	国検規格
銅(SPCC)	0.83mg/20cm ² /day	3mg/20cm ² /day以下
黄銅(C2801P)	0.95mg/20cm ² /day	
アルミニウム(A5052P)	0.05mg/20cm ² /day	

- ・本消火薬剤は、温度65℃に216時間保った後に室温に戻し、さらに温度−18℃に24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

■使用温度範囲

「−10℃〜+30℃」の温度範囲で使用できます。もし使用温度範囲及び流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

■物理的性状

試験項目	実測値	国検規格
比 重 (20℃)	1.15	1.10〜1.20
粘 度 (20℃)	26cSt(20℃)	400cSt以下
流 動 点	−15.0℃	−12.5℃以下
p H (20℃)	6.9	6.0〜7.5
沈 澱 量	原 液	痕跡以下
	淡・海水希釈液	痕跡以下
引 火 点	なし	60℃以上

■性能

	試験基準	基準別実測値			規格値
		国検規格		告示559号	
試験条件	使用水・希釈率	淡水3%	合成海水3%	淡水6%	——
	燃 料 種 類	自動車用ガソリン		アセトン	——
	燃 料 量	200L		400L	——
	発 泡 ノ ズ ル	国検たん白泡標準ノズル			——
	放 射 量	10L/min		20L/min	——
	燃 焼 火 皿	B-20(4m ²)			——
発泡性能	発 泡 倍 率	8.5倍	8.0倍	7.0倍	6倍以上
	25%還元時間	4分30秒	4分0秒	5分35秒	1分以上
消火性能	消 火 時 間	2分05秒	2分03秒	2分16秒	5分以内
	密 封 性 試 験	良	良	良	良
	耐 火 性 試 験	40cm ²	45cm ²	100cm ²	900cm ² 以下

■容器

標準容器として次の3種類があります。

1000L容器：プラスチック製内容器付複合IBC容器

200L容器：JIS Z1601に適合する鋼製液体用ドラム缶

20L容器：JIS Z1706に適合するポリエチレン扁平缶

■取扱上の注意

●使用上の注意

- ・「石油類火災用」「水溶性液体火災用」に使用してください。
- ・使用時に他の薬剤と混用しないでください。
- ・使用時には淡水・海水または硬水で3%または6%希釈してご使用ください。

●貯蔵上の注意

- ・貯蔵時にブレックス(淡水・海水・硬水と混合)しないでください。
- ・使用温度範囲を保って貯蔵してください。
- ・貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。

※たん白泡消火薬剤は、空気に触れると徐々に変化し原液の表面に非水溶性の膜が生じて沈殿します。これを繰り返すうちに消火性能の低下や、沈殿による配管の詰まりなど本来の性能を十分に発揮できなくなる可能性があります。性能低下を防止するため、変質防止剤などを添加していますが、使用温度範囲以内で保管していただくなど、取り扱い上の注意を守っていただくことでより長く使用できます。